

# 三心を磨く

学校だより NO. 34  
平成30年 1月 9日(火) 発行  
須坂市立東中学校  
文責：金井 勝久 教頭  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

3学期 『始業式』 校長講話

## 3学期は、次年度の『0学期』

平成30年の初めに当たり、新年の挨拶を、全員でさわやかにしたいと思います。  
「新年、明けましておめでとうございます」

年末から年始にかけて、雪が降ったりやんだりと不安定な天気が続きました。13日間あった年末年始休業でしたが、3年生は進路実現に向けた学習に、しっかりと取り組めたでしょうか。また、1・2年生のみなさんは、家族と共に過ごす時間を、大事にできたでしょうか。

今日から3学期が始まります。2学期終業式の折、1月9日には、全員が新しい年への決意を胸に、元気にさわやかに登校してほしいと話をしました。今朝は寒さが一段落としたように感じられますが、その分、3学期のスタートに当たり、気持ちを引き締めて本日を過ごしたいものです。

さて、3学期は「47日間」しかない短い学期です。しかし3年生にとっては、義務教育9カ年の最後の47日間であり、自分の進路を具体的に決定し実現させていかななくてはなりません。2年生にとっては、自分自身を磨きつつ、東中学校を、そして東中学校生徒会をどうするのかを、固めていかななくてはなりませんし、修学旅行の準備も本格化させなくてははいけません。1年生は、一段と力をつけるとともに、新入生に対して、自分は何ができるのかを考える時期でもあります。それぞれの学年の、一人一人の足跡が自分自身を創るとともに、東中学校を創っていくわけです。そのように考えると、3学期は、47日間という短い3学期ではありますが、一日一日が、とても大切になってきます。

今、代表の3人の人が、3学期に寄せる決意や思いを立派に発表してくれました。その学年、その人ならではの決意であり、とても立派だと思いました。聞いていたみなさんは、どんな決意や思いを持って、3学期を始めようとしているのでしょうか。そこで今日は、この3学期を、このようなつもりで過ごしてもらいたいという、私の願いをお話ししたいと思います。

3年生、みなさんは、この3月に本校を卒業し、それぞれの道に進むこととなります。自分の将来の夢をかなえるために、大学に進学することを目指して普通高校に進学を希望している人、高校卒業後、就職と進学の両方を考えて、資格を取り技能を身に付けるために職業高校への進学を目指している人、はたまた自分の特技を生かし伸ばすために専門高校への進学を目指している人、様々だと思えます。また、1年生、2年生は、4月に学年が一つあがります。2年生は、最上級生の3年生に、1年生は、中堅学年の2年生になり

先輩と呼ばれるようになります。

学年が一つ上がる1年生、2年生。学年が一つ上がる前に、これだけはやり遂げたい、ということの一つでもいいので決めて、今日から取り組んでほしいと思います。例えば、大きな声であいさつができなかった自分を変える、提出ノートをいいかげんにしていた自分を変える、部活動への取組が甘かった自分を変える、発言ができなかった自分を変えようとするだけでもいいでしょう。1年生、2年生は、1年の3学期、2年の3学期であると同時に、一つ進級した2年生、3年生の0学期という意識を持ち、4月から迎える1学期に備えるためには、この0学期に何をしておかななくてはいけないのか、よく考えて生活して欲しいと思います。

3年生は、高校生になる前に、何をしておかななくてはいけないのでしょうか。まずは、希望校に合格するために、必死に勉強することが第1ですが、それだけではなく、3年間の中学校生活を振り返り、自分に足らなかったことはないのか、もっと努力すべきことはなかったのか、よく考えて、高校生に入学してから頑張りたいことを、3学期から頑張つて、この3学期を過ごしてほしいと思います。

寒い時期を迎えています。健康に気をつけ、元気で3学期を乗り越えましょう。

## ◇◇ ローターの凹みを直していただきました！ ◇◇

先日、除雪トラクターの倉庫を設置してくださった時、河東工業の社長さんが、「この凹みが気になるね」と、正面玄関の横、校庭側のマンホール付近に見られる凹みを心配してくださいました。



とてもありがたいお言葉でしたが、師走の忙しい時期、さらに整備にはお金がかかる事ですから、「市に予算付けをしていただき、春になったら業者さんをお願いしよう」と学校長と話していました。

そんな中、12月20日(水)、河東工業さんの社員さんが現れ、「これからやらせていただきます！」と、凹みの修理にやってきてくださったのです。

寒い中でした。鼻をすすられながら小一時間、凹みを突いていねいに直し、「ありがとうございました」と話され、「さっ」と帰られました。

「ありがとうございました」はこちらが伝えたい気持ちでした。「余っていた古いアスファルトを使ったので…」と話され、「東中学校の卒業生ですから」と続けられました。

完全なるボランティア活動をしてくださいました。地域に支えられている東中学校を、また実感させていただきました。このようなお気持ちに感謝、本当に感謝です。ありがとうございました。

1月5日(金)に、職員全員で「非違行為防止研修」を行ったり、11月に行った「学校評価アンケート結果の分析」から「さらなる授業改善の必要性」「3学期の方向」などについて話し合ったり、「具体的にどのように指導していくのか」について確認したりしました。

いよいよ3学期です。「まとめ」「節目」の学期です。さらに授業の質を高め、家庭学習・補習などに取り組み、「学力向上」に向けて努力をしてまいります。本年もよろしく願いいたします。

東中学校 校長 北村 雅